

特集

子育てママ × 市議会

子育てママには市議会ってどんな風に映っているのでしょうか。市内に住む子育てママから議会や議会だよりについてのお話を伺いました。

市議会のイメージって湧かないなく。議会ってなくなっていくって感じですね。

〈議会だよりを見たことはありませんか？〉

あるのは知っていますが…。どこに置いてあるんですか(笑) 実家に帰ったときあると見るかな。知り合いの議員さんのところだけ見るときがあります。

年間4回 2月、5月、8月、11月に発行して、基本は新聞折込で配布しています。今回のリニューアルでさらに多くの人が読んで

くれると嬉しいです。

図書館とかにも置いてあるの？

図書館や市役所、体育館等、市内の多くの公共施設に置いてあります。

〈市議会のイメージは〉

何を話し合っているんだろって感じですね。難しいことを皆で決めているん



だらうなって。言葉も難しそうだから、聞いてもわからなそう。近所にいる議員さんとは身近におしゃべりするんだけど、実際、議会って私たちには関係ないよねって感じのイメージがあるかな。だから市議会のイメージって湧かないなく。議会ってなくなっていくって感じですね。議会を見ることはできますか？

できますよ。傍聴できることも、もっとアピールしなくちゃね。

会議中継してませんか？

録画中継をインターネットで配信していますよ。あとは、本庁舎1階のロビーでライブ中継していますので、一度、雰囲気だけでも味わっていただきたいと思います。

〈子育てするなかで、議会や市に望むものは〉
乳幼児をいつでも連れて行ける施設が、本庁舎近くにもひとつ欲しいですね。雨がふったときや、すごく寒いとき暑いときに行く場所がなくなると。

るのキッズ通信っていうのがあって、それには子育ての場所の提供や教室の案内がありますよ。
学校でボランティアができるような環境があればいいな。もっと気軽に学校に入っていけるような仕組みも欲しいですね。

放課後に遊びボランティアを募集している学校もあります。

他にも子育てママの目線でさまざまなお話を聞くことができ、今後の議会活動の参考にさせていただきます。お忙しいなかご協力いただきありがとうございます。

あきる野市の こんなことが決まりました。

今回の議案は

諮問	1件
専決	2件
市長提出議案	17件
陳情	1件
議員提出議案	2件
計	23件

議案番号	件名	結果
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任と認める
Pick up 1 専決第4号	専決処分した平成24年度あきる野市一般会計補正予算(第3号)の報告及び承認について	承認
専決第5号	専決処分した平成24年度あきる野市一般会計補正予算(第4号)の報告及び承認について	承認
議案第58号	あきる野市特別職の職員の給料等の特例に関する条例	原案可決
議案第59号	あきる野市障害者通所支援施設の設置及び管理に関する条例	原案可決
議案第60号	あきる野市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
Pick up 2 議案第61号	あきる野市防災会議条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第62号	あきる野市暴力団排除条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第63号	秋多都市計画事業西秋留駅北口土地区画整理事業施行規程を廃止する条例	原案可決
議案第64号	あきる野市障害者通所支援施設に係る指定管理者の指定について	原案可決
議案第65号	あきる野市高齢者在宅サービスセンターの五日市センターに係る指定管理者の指定について	原案可決
Pick up 3 議案第66号	あきる野市民文化ホールに係る指定管理者の指定について	原案可決
議案第67号	あきる野市専用水道事務等の事務委託について	原案可決
Pick up 4 議案第68号	平成24年度あきる野市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第69号	平成24年度あきる野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第70号	平成24年度あきる野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第71号	平成24年度あきる野市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第72号	平成24年度あきる野市戸倉財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第73号	あきる野市特別職の職員の給料の特例に関する条例	原案可決
議案第74号	調査等に出頭した者並びに公聴会に参加した者の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
陳情24-11号	保育園入園に関する陳情	審議未了
議員提出議案24-6号	あきる野市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
議員提出議案24-7号	あきる野市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決

Pick up 1

東京都知事選挙実施に伴い 予算を追加

東京都の知事を決める選挙は、本来、東京都が投開票を行うものですが、全ての市区町村で行き届いた事務を行うことが難しいため、東京都から依頼を受け各市区町村が投開票の事務を行います。その予算として、東京都から3,809万円が本市の予算に追加されました。

こんな質問が出ました。

Q 五日市出張所での期日前投票期間は、何日間ありますか？

A 3日間です。

Q 五日市地区は人口が少ないという意見もありますが、よく実態を調べて期間を設定してください。

A ご意見は選挙管理委員会に伝えたいと思います。



Pick up 2

防災会議の定数を30人以内 から35人以内に変更

防災会議は、地域防災計画の作成等を行う組織ですが、厚生労働省から災害時に医療活動が機能するために医療コーナー（ダイネーター）等の参加を促す考えが示されたことや、更なる地域防災力の強化を図るため、委員定数を5人増加することにしました。

こんな質問が出ました。

Q どんなときに防災会議は開かれますか？

A 防災会議は、防災計画を作成するときなどに開かれます。

Q 災害などが発生した場合に、先に設置される災害対策本部との連携となりますか？

A 増やした5人の枠に女性を採用する考えはありますか？



A 職種などによりますが、なるべく女性中心にしたいと考えています。

Q 災害時には女性の視点が大切になるため、今以上に女性を増やす考えはありますか？

A 今後は、女性を確保できるように指示していきたいです。

議会改革推進委員会の活動



あきる野市議会は、平成23年3月に議会改革検討委員会から議長に提出された答申の議会改革や、議会活性化に係る事項などについて、その具現化を図るため、議会改革推進委員会（以下「委員会」）を設置し、調査・研究を行っています。

委員会は、平成24年12月までに延べ9回開催し、検討事項のうち、陳情者の意見陳述についての具体的な手続きなどの取り決めや、議員定数について協議を重ねています。以下、これまでに委員会で決定した事項について、概要をお知らせします。

○陳情者の意見陳述について

陳情者が意見陳述する機会を設けることとしました。

これは、陳情者が希望する場合、その陳情を審査する議員に対し、陳情の趣旨や陳情を提出するに至った思いなどを述べるができるというものです。

この取り決めは、平成25年第1回（3月）定例会で審査される陳情から実施されます。今後は、陳情書を提出された方に、意見陳述の希望の有無をおたずねいたします。

なお、市議会だよりについての検討事項は議会報編集特別委員会で調査・研究を行い、一般質問者の顔写真掲載、カラー化、議会用語を分かりやすく改善することについては、議会だよりのリニューアルにあわせて、今号から実施しました。

議会改革推進委員会名簿

委員長 細谷 功 副委員長 岡野悦史 委員 子籠敏人 清水 晃 増崎俊宏 村木英幸 山根トミ江

Pick up 3

キララホールを管理運営する民間事業者が決定

指定管理者制度により、民間事業者に管理運営を任せることが決まっている秋川キララホールを管理運営する業者が決定しました。この制度では、人件費も含む管理運営費の削減や、専門家の行き届いたサービスを期待し、ファインプラザや市民プールなどを既に指定管理としています。

こんな質問が出ました。

Q 民間事業者が管理運営することでのくらい費用が削減できますか？

A 約2,000万円の削減を見込んでいます。

Q キララホール名誉顧問はどうなりますか？

A 今までどおり1名置く予定です。

Q 今回決まった事業者の実績や評判はどうですか？

A 春日部市のふれあいキューブの運営実績があります。事業なども積極的にを行い、親切丁寧な対応をしていると聞いています。



Pick up 4

盆掘地区の公共自動車の配備に向けて予算を追加

平成25年4月から盆掘地区の交通対策として、現在市内を運行している「るのバス」とは別に、公共自動車を走らせる予定になっています。その試験運転を平成25年3月に実施するために、予算を追加して試験運転ができるように対応します。

こんな質問が出ました。

Q 盆掘地区に公共自動車を走らせることになった経緯は？

A 交通不便地域として協議が重ねられ、地域住民の発意により市と協働で実施することになりました。

Q 自動車の形は？

A ワゴンタイプを予定しています。

Q 運転手は？

A 地元の方を非常勤職員として雇用し対応します。

*この内容は、平成24年度あきる野市一般会計補正予算（第5号）の一部です。



聞いてみたいな
こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容がありますか？

質問議員 20名 質問項目 39項目

交通

学童の通学路の安全対策について



山根 トミ江議員

Q 危険と思われる交差点には、交通擁護員を配置すべきと思うがどうか。

A 現在、学校と協議の上、交通量の多い交差点等34カ所に交通安全推進員を配置するとともに、地域、PTA、学校安全ボランティア等の協力を得ながら、適切に配置していると考えます。今後、も随時見直しを行い、学校と連携し、児童の登下校の安全確保に努めていきたい。

Q 草花小学校の学童の通学路となっている南小宮橋北側に、手押し信号機をつけるなどの安全対策をとれないか。

A 信号機の設置が必要と考え、既に福生警察署及び警視庁と現地立ち会いを行っている。他に草花・折立地域の下水道の早期設置、高齢者が健康でいきいき過ごせる対策について質問した。

A 早期に整備されるよう、引き続き東京都と連携し、取り組んでいきたい。

Q 永田橋周辺の安全対策について、地域住民の署名を添えて西多摩建設事務所長宛に要望書を提出してきた。市としても再度、関係機関に働きかけを行うよう求めるがどうか。



道路

増戸地区生活環境改善について



合川 哲夫議員

Q 都道185号線歩道整備の要望書提出後の具体的な動きは。

A 都道185号線は、東京都から本市が道路用地取得の委託を受けており、早期に歩道の整備ができるよう努めていきたい。

Q 伊奈地区の生活道路改善に向けて、工程表を作成して進めることはできないか。

A 現在、策定中の道路整備計画に位置付けた上で、今後、道路幅員や線形、地元説明会等についての意見交換を行いたい。

Q 都道185号停車場線(武蔵増戸駅)への改善に向けての働きかけができないか。

A 今後、警察や地域住民等の合意形成に向け、話し合いを持ちたいと考えている。

Q 新たに完成した道路の愛称を付けたらどうか。

A 秋3・5・2号線や愛称のない幹線道路は、今後、検討したいと考えている。他に防災について質問した。

消防

消防団員の活動の見直しについて



清水 晃議員

Q 消防団は犠牲的精神や集団への奉仕が重んじられ、自分の身の安全という視点がこれまで欠けていたのではないか。200人以上の団員が死亡・行方不明になった平成23年3月の東日本大震災を受け、消防団員も自分と家族の命を最優先にすべきと考えるが、これらの見解について伺う。

A 本市では、過去10年間で、操法大会練習中を含め17名が負傷した。市は、消防団員に対し、災害時には自分の身を守る、家族の安全を確保するなど、自助を行った上で消防団活動に従事するよう指導している。平成25年2月頃には、幹部団員対象の危険予知訓練研修を計画しており、災害現場での安全管理研修を行うとともに、健康診断も予定している。また、犠牲者を出さないための取り組みを進めているほか、家族の安否確認のためのルール作りについての検討も今後行っていく。

他に自然との共生の環境整備、学童保育について質問した。



都道185号線

防災について



増崎 俊宏議員

東日本大震災により、私たちが住む日本は、いつ何が起きてもおかしくない地震大国であり、災害大国であることを改めて思い知らされた。今後、首都直下型地震の発災も懸念されることから、日頃の備えが重要であると考え、以下伺う。

Q 緊急速報メールのテスト配信を今後行う考えは。

A 緊急速報メールは、市民だけでなく、本市を訪れた方にも災害時の情報を届ける役割がある。今後、年に1、2回テスト配信を行ってほしい。

Q 総合防災訓練の際、緊急速報メールに関する相談コーナーを設置してはどうか。

A 総合防災訓練については、そのあり方、最も必要な訓練は何かを見直す必要があると思っており、その中で緊急速報メールの相談コーナー設置についても検討していきたい。

他に障がい者の就労支援について質問した。



応急給水訓練

学習等供用施設としてのコミュニティ施設について



戸沢 弘征議員

Q 秋川一丁目から六丁目及び瀬戸岡地区は、ルピアの和室をコミュニティの場としているが、ルピア周辺には町内会がない。この地域は固定資産税、都市計画税が一番高い地域であり、行政が担当者を決め、子ども会を含めたコミュニティ育成の町内会を作る必要がある。町内会を作るため、賃貸住宅に住む家庭には、町内会会費相当分を市が援助して、「協働のまち」として組織化すべきと思うが、どう考えるか。また、ルピアは耐震化されており、地域の避難所に指定すべきだと考えるがいかがか。

A 町内会・自治会は地域の自主・自立的な組織であるが、地域活動を進める主体として重視している。未設置の地域で、新たな住宅が建つたところもあり、周辺自治会から、その組織化について要望も出ているため、市としても協力し、課題として取り組みたい。それによって、防災に強いまちづくり、災害に強いまちの形成が果たせると考えており、今後計画を立てていく必要性についても検討していきたい。



ルピアの集会室

小中一貫教育の内容について



たばた あずみ議員

当市で進めている小中一貫教育の内容の明確化のため質問する。

Q 三鷹市や品川区のような「小中一貫校」を作るものではないという理解でよいか。

A 小中9年間の連続性を重視し、小中一体での取り組みを充実させることに取り組みもので、現時点では、三鷹市や品川区のような教育特区申請をして特別な制度は考えていない。

Q 市民・保護者・教職員・市教育委員会が信頼しあえるよう、丁寧でわかりやすい説明をすべきではないか。

A 各学校の学校だよりの他、推進基本計画がまとまった段階でのパブリックコメントの実施や、保護者・市民向けの説明会をきちんとやっていきたい。

他に生活保護、保育園待機児について質問した。



※特区（構造改革特別区域）
民間事業者、NPO法人、個人、地方公共団体等の自発的な発案により、地域の特性に応じた規制の特例措置を導入する地域（特区）を設けて、規制緩和により地域の活性化を図るとともに、実態に合わなくなった国の規制を改革するもの

消防団員増員の推進について



細谷 功議員

消防団は社会貢献や地域貢献の象徴である。その消防団員減員の要因は町内会・自治会の加入率低迷や、生活環境の変化、地域の過疎化など様々あると思われるが、以下伺う。

Q 郷土芸能に関わっている団員が多い部があると聞くが、市は、郷土芸能にどのような支援をしているのか。

A 市内には39団体が構成する、あきる野市郷土芸能連合会があり、連合会に対し補助金を交付している。また、国や文化庁より事業に対し、助成等があり、その申請等の支援をしている。

A 西部地域に人口減少化傾向が強くみられ、特に戸倉・小宮地区では、昭和50年との比較で46・4%減少している。過疎対策としては、引き続き自然環境や歴史・文化を活用した魅力ある地域づくりに取り組んでいく。

Q 今後、消防団の活動の変化、そして団や部の区割りの変更は必要とされるか。

A 見直しの要否は現役消防団員の意見を踏まえた上で、消防団幹部と調整する必要があると考えている。

Q 一部の地域では過疎化は大きな問題であるが、市ではどのような過疎化対策を行っているか。また、今後の計画を伺う。



安心・安全のまちづくりについて



岡野 悦史議員

先日、近所の方から道路に設置されている案内標識のポールが錆びて塗装が剥がれ落ちていたとのご意見や、ポールの腐食により案内標識が倒れたり、落下するようないことが起きたら大変な事故につながるのではとの指摘を受けた。他にも道路上に樹木の枝等が伸びて、標識などの表示が見えにくい場所や歩道上に雑草が繁茂し、通行障害になり危険を感じる箇所もある。市及び設置者が管理する敷地における占用物等の維持管理について、以下伺う。

Q 設置者の把握は。道路法では、道路を占有する者は、道路管理者の許可を受けなければならないため、道路占用許可申請を行う。この申請書により設置者を把握している。

A 占用物等の点検方法は。道路占用許可に際し、占有者には、道路構造の保全と交通の危険を防止し、円滑な交通を確保するため、占用物件の点検等を行うことを指導している。

Q 道路・歩道の管理は。市では、月に1度、道路パトロールを実施し、道路、歩道及び公園等の異常や破損等の確認を行っている。



福祉について



村木 英幸議員

Q 地域包括ケアシステムの構築に向けて、多職種連携をどのように進めていくか。国はシステムの構築には、地域ケア会議の実施が効果的としている。今後は24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの整備など、基盤整備の状況を見据えながら、国が推進する地域ケア多職種協働推進事業を検討していきたい。

Q 日常生活圏域が3地域で設定されているが、高齢化率でばらつきが見られる。地域包括支援センターの機能強化及び増設を考えるべきだと思いませんか。利用者の地域特性や利便性を考慮しながら、日常生活圏域に1カ所の地域包括支援センターの設置について、日常生活圏域の設定の見直しを含め、次期計画に向け

A 日常生活圏域が3地域で設定されているが、高齢化率でばらつきが見られる。地域包括支援センターの機能強化及び増設を考えるべきだと思いませんか。利用者の地域特性や利便性を考慮しながら、日常生活圏域に1カ所の地域包括支援センターの設置について、日常生活圏域の設定の見直しを含め、次期計画に向け



他に教育、郷土の恵みの森づくりについて質問した。

Q 平成25年度、障がい者の法定雇用率が引き上げになり、障がい者雇用の義務を負う事業者の範囲も拡大されるが、本市としては、どのように支援していくか。今後もある野市障がい者就労・生活支援センター職員による企業訪問をはじめ、青梅ハローワークや企業からの情報収集、また障がい者雇用担当者との連携を深め、障がい者の就労支援に取り組んでいく。

市独自の施策について



中村 雅一議員

Q 市の独自財源で行う事業には、どのようなものがあるか。

A 難病患者等見舞金支給事業、高齢者の水道・電話料金の助成事業、私立保育所施設運営費補助事業、五日市郷土館の耐震補強事業などのほか、各種施設の維持管理、道路応急補修工事等多くある。

Q 今後、毎年必要な独自財源はどの位と推計するか。

A 今後、消費税増税の影響、社会保障関係経費の伸び、社会資本の老朽化等、変動要素があるが、おおむね82億円から86億円と見込んでいる。

Q 市の独自事業に必要とする予算総額はどの位か。

A 平成24年度当初予算で280事業、約85億4500万円である。



五日市郷土館

子育て支援について



田中 千代子議員

Q 子育て支援の1つに保育園の待機児童対策がある。東京都独自の制度による認証保育所は、本市内2か所で運営されている。しかし、国基準の認可保育所に比べ保育料の補助が無いため、保護者の全額負担が大きな課題となっている。安心して仕事・子育てができる環境づくりの充実のために、保育料の補助をしている自治体も増えており、本市でも保育料を補助することで保護者の負担軽減ができないか伺う。

A 喫緊の課題である待機児童の解消に向けた保育所施設の整備を重点的に進め、7園の保育所整備により平成24年度末には159人の定員増を図る。認証保育所の負担軽減策については、子ども子育て関連3法が公布され、27年度から開始され

Q 新たな保育制度の中で、認証保育所のあり方を踏まえて検討していく。東京都に対し市長会要望として、認証保育所を利用する保護者の負担軽減を図るための新たな制度の導入を要望しており、引き続き強く要望していく。

A 他にAED（自動体外式除細動器）の利用拡大について質問した。



市内の認証保育所

東京都が進めている 多摩振興策について



田野倉 由男議員

Q 東京都は多摩地区の人口増に加え、多摩振興策を展開してきた。現在は「多摩振興プロジェクト」による6施策60事業を推進し、平成24年度は2394億円の巨額が投入されている。本市に関係する事業の種類や進捗について伺う。

A 多摩振興プロジェクトの一つ目の柱は、圏央道等の整備促進等についての国への働きかけ。二つ目は、市町村総合交付金等の拡充。三つ目は、6つの施策テーマのもと、60の事業が展開される多摩振興プロジェクト事業の推進。この多摩振興プロジェクト事業では、第2次交差点すいすいプランの推進による二宮神社前交差点と山田交差点の改良、都市農業経営パワーアップ事業を活用した農業経営の改善、私立保育園の耐震化事業と合わせた定員増、地球温暖化防止や環境政策に対する補助金による郷土の恵みの森事業の推進などが、本市に関する主な事業となっている。



改良された山田交差点

市道深沢線について



奥秋 利郎議員

Q 市道深沢線は、五日市給食センター北側三叉路より大坂下の三叉路までの約350mの区間を7.5mに拡幅整備すると聞く。平成17年に現況測量、18年に路線測量と共に線形を決定、19年には用地測量、20年には詳細構築物を確定して設計の上、用地買収し、21年には工事を開始したと伺っている。現在、市道深沢線の拡幅整備事業の進捗状況はいかがか。

A 表面舗装のひび割れは、危険かどうか現地を見て確認し、道路舗装の維持補修の評価にのっとり判断したい。他に高齢者対策について質問した。



大坂下三叉路付近

表彰について



市倉 理男議員

Q 現在、本市では善行表彰は継続しているか。あきる台病院では、入院している父親のために、娘さんの結婚式を病院で挙げられたそうだが、このような場合、誰が推薦人になるのか。

A 善行表彰のほか、各分野における市民表彰の対象となる候補者の推薦については、毎年広報あきる野でお知らせしている。推薦人は、表彰候補者の功績とその経過等が分かる方の情報に基づき、市の関係する課長の職にある者や、関係団体の長となる。



秋原タケ女史

Q 本市の偉人として、日本に最初に「ナイチンゲール記章」を受章した秋原タケ女史がいる。日夜献身的に、患者の看護をされている市内医療機関などの看護師の励みになるよう「秋原タケ記章」を創設したらどうか。

A 広い範囲で本市の善行表彰という見地から考えると、検討の余地があると思っている。

教育について



松原 敬雄議員

Q 東日本大震災の教訓から、学校での安全教育の重要性が再認識されている。そこで応急手当教育の実情を伺う。

わって指導者になれる講習を受講するよう進めていきたい。

学校給食納付金の徴収率は、23年度決算で98.6%と大きく改善されてきている。そこで以下伺う。

A 中学校での「救命技能認定証」が取得できる普通救命講習の実施予定は、平成24年度は、中学3校が実施予定。今後、全ての中学生が救命技能認定証を取得することが望ましいと考え、25年度の年間指導計画の中にきちんと位置付けるよう指導していく。

Q 消防庁が救命講習の講師となれる応急手当普及員の養成を推進している。この事についての見解は。

A 救命技能認定証を取得する教員を増やし、その中から応急手当に関心のある教員を育成し、消防署員にか



Q 本市学校給食センターの設置及び管理運営に関する条例施行規則第3条を削除する考えはあるか。

A 食育基本法施行に伴い、学校給食の場が教育活動の一環であることが明確化されたので、第3条については、削除する方向で見直しをしていきたい。

※第3条
次の各号のいずれかに該当したとき教育委員会は、給食を一時停止又は加入の取消しをすることができる。
(1) 加入者の名簿に登録された者が、給食納付金を4月以上滞納したとき。
(2) その他教育委員会が給食を供給することが不相当であると認めるとき。

国体

スポーツ祭東京2013について



堀江 武史議員

東京オリンピック・パラリンピックを招致している中、スポーツ祭東京2013（多摩国体）の開催まで1年を切った。市内で開催の3競技のうち、馬術競技を除く、自転車競技及びソフボール競技については、平成24年9月にリハーサル大会が行われ多くの市民が観戦し、関心も高まったと思われる。そこで質問する。

Q

リハーサル大会を行ったことで見つかった課題は。

A

近県以外からの応援者が少なかったことから、本番で児童・生徒などの協力を得



国体キャラクター

Q

今後の気運醸成は。

A

これまで花いっぱい運動や各種イベントに参加して周知活動を行ってきた。今後、路線バスや「るのバス」などに国体PR用のラッピング、スポレク大会で国体炬火の採火式を行う。また、市内各駅前に歓迎用の花壇やイルミネーションの設置を継続して行う。

他にあきる野安心メールについて質問した。

教育

ICTを活用した教員の指導力向上について



黒川 健児議員

子どもたちの学力向上や学習意欲の定着が図られた授業例やモデル授業等については、教員間で共有化を図ることで、教員の指導力向上にもつながると考える。そこで以下伺う。

Q

平成26年度からの次期「あきる野市教育基本計画」では、教員の資質・能力の向上策としてICTを活用したデータベースの作成に取り組んでどうか。

A

教員の資質・能力の向上には、優れた指導計画や指導案、学習資料等、データの共有化が有効であると認識している。「教育基本計画」の見直しの際には、データの蓄積に向けたネットワークの整備や校務用コンピュータの計画的な配備など、教育情報ネットワークの体制整備について検討してい

Q

優れた指導計画や学習資料等のデータ蓄積へ向け、教員の意識づけに努めては。

A

資料を市内の全小中学校がデータ化して、自由に検索したり活用できれば、教材研究あるいは教材準備の時間短縮にもなり、校務の軽減にもつながると考える。情報共有のメリットについて、研究会などの場で積極的に働きかけていきたい。

A

他に市民力や行政力の向上につながる条例づくり、鯉川橋の架け替えについて質問した。



道徳公開モデル事業

※ICT
Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略。日本語では一般に、インターネットやコンピュータを活用した「情報通信技術」のこと。

道路

道路整備事業について



苗野 眞司議員

本市が誕生し18年目になるが、この間、草花地区を通る都道の整備は目を見張るものがある。道路は完成してはじめてその効果を発揮するが、以下の道路整備状況はどのようになっているか。

Q

主要地方道29号線の進捗について。

A

全長約1400mのうち、現在までに約900mが完成しており、平成24年度の工事では、約130mを施工する。



主要地方道29号線

Q

秋3・3・9号線の進捗について。

A

草花大橋から氷沢橋までの約900mでは、東京都による草花大橋の上部仕上げと取付け道路の工事が進められている。なお、一部境界未確定で狭い市道について交通開放に向けての協議を行っており、一定の安全対策を施してからの交通開放になると考えている。

Q

秋3・4・6号線の進捗について。

A

永田橋から下草花バス停留場までの整備については、用地取得が面積割合で19%であり、今後も用地買収に努力していく。また、永田橋の歩道の未整備箇所の解決に向けては、現在調整中のことである。

全般

市民の関心事について



野村 正夫議員

平成24年を振り返り市民が注目したであろう出来事として、「本市の借金が東京都26市中トップになったこと」「東京都から派遣された職員がハレンチな犯罪で警察に逮捕されたこと」「前代未聞の不信任が可決された議長が辞任したこと」「町内会・自治会連合会や防犯協会の会長経験者の方々が二千人近い署名と共に議員定数削減の陳情が出されたこと」「市内在住の木村沙織さんがオリンピックで銅メダルの栄に輝いたこと」などが挙げられると思うが、行政の見方として功罪の出来事を五つあげるとしたら何か。

A

トップニュースは1月に天皇・皇后両陛下の五日市郷土館への行幸啓。二つ目は138年の歴史に幕を下ろした小宮小学校が、閉校後



に自然環境教育の拠点となる「小宮ふるさと自然体験学校」に生まれ変わったこと。三つ目はスポーツ祭東京2013のリハーサル大会。四つ目はいじめ問題が全国的に表面化したこと。「いじめ撲滅三原則」のもと指導を実践している本市には関心の高い出来事であったと認識している。最後は職員の教育や指導を通じてコンプライアンスの徹底に努めたい。



澤井敏和 議員

市議の Q&A

Q 本市広報に掲載される予算・決算などの情報を、分かりやすく、興味を持てるように創意工夫できないか。

A 歳入歳出の状況は、これまでに表に数字だけ載せていたものを円グラフにして、視覚的に構成比が分かるような形式に改めている。

Q 雨間アルプス東側南北道路の開通はいつか。

A 雨間交差点から五日市街道までの区間は、平成26年の供用開始を目指している。

Q 武蔵引田駅東側南北道路とは別に南側の事業を先行して着手できないか。

A 東西の主要幹線の一つで、早期に整備を図る必要がある区間と認識しており、第4次事業計画に載せる時点で一定の判断はしたいと考えている。

森山区画整理地の西側道路



雨間アルプス東側南北道路

A 通勤、通学には狭く危険であり、武蔵引田駅周辺の土地区画整理事業の施行との兼ね合いや財政状況も勘案しながら検討していく。

Q 森山区画整理地の西側道路の今後の事業化をどのように考えているか。また、早期事業着手の考えは。

A 引き続き東京都に整備の要請を行っていく。

Q 原小宮地域内の未整備道路の区画整理事業以外の整備方法を地権者等と再検討できないか。

A 東西の主要幹線の一つで、早期に整備を図る必要がある区間と認識しており、第4次事業計画に載せる時点で一定の判断はしたいと考えている。

あきる野市議会活動レポート

議会だよりリニューアルにあたり



あきる野市議会だよりは、平成7年合併当時、秋川市、五日市町の議会だよりの優れている点を反映させたレイアウトでスタートしました。とりわけ、旧五日市町議会だよりは、町村議会広報全国コンクールで優秀賞を受賞した経歴があり高い評価を得ていました。しかし、編集機器やソフトの普及により手軽に斬新なレイアウトが作成できる時代となり、民間の広告はもとより自治体の広報にも変化が訪れ始めました。そして、本市議会報編集特別委員会でも今の時代にあったレイアウトを調査研究し、手にとってもらい気づきを得られる議会だよりを目指し、リニューアルを実施いたしました。今後も議会の活動を多くの方に理解していただけるよう、よりわかりやすく市民に親しまれる議会だよりづくりを目指していきます。

議会報編集特別委員会 委員長 堀江 武史

秋川流域市町村議会議員研修会



10月2日(火)に檜原村役場で、秋川流域市町村議会議員研修会が開催され、本市議会議員も参加しました。今年開催される「スポーツ祭東京」について、東京都スポーツ振興局 松尾競技課長による講演が行われました。

西多摩地区議長会議員研修会



11月5日(月)に檜原村役場で、西多摩地区議長会議員研修会が開催され、本市議会議員も参加しました。「地方議会改革の現状と展望～議会の権能強化のために～」と題し、山梨学院大学法学部の江藤俊昭教授による講演が行われました。

青梅市議会が本市を視察



本市が取り入れている総合評価方式について、11月13日(火)に青梅市議会の総務企画委員会が、行政視察に訪れました。

請願・陳情の提出方法

3月定例会では2月19日(火)までに提出された請願・陳情を審査します。

〈請願〉
市議会議員の紹介が必要で、議長が受理し、各常任委員会に付託され審査されます。議会最終日に各常任委員長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。

〈陳情〉
市議会議員の紹介は不要です。取り扱いについては、請願と同じです。

〇〇〇に関する請願 (陳情)

1. 趣旨
2. 理由

紹介議員 〇〇〇 〇
平成 年 月 日

請願 (陳情) 者
住所
氏名 〇 外 名
電話番号
あきる野市議会議長 〇〇〇 殿

「書き方」
● 請願(陳情)の趣旨、理由については、できるだけ簡潔に書いてください。また、場所などの表示が必要なものは、図面を付けてください。

● 2名以上で請願(陳情)を行う場合は、住所・氏名を書いた署名簿を添えてください。なお署名者がその請願(陳情)の趣旨に賛同していることがわかるように、各署名簿に件名、趣旨、理由を記載してください。

「提出先」
あきる野市役所本庁舎6階の議会事務局に、直接持参してください。
受付時間：平日8時30分～17時15分

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
TEL(558)1111